スマートシティが果たす役割と具体的な内容

①交通の観点

公共交通による効率的な移動を行うためのデータを提供することで、渋滞緩和に寄与し快適かつ安全・安心に移動できる①まちづくりを推進する役割②がある。

具体的な内容として、MaaSの活用が挙げられる。一人ひとりの移動ニーズに対応し、乗合輸送や個別輸送等の手段を組み合わせて検策③、予約、決済までを一括に④行う。これにより、過度なマイカー利用を低減させ、渋滞の緩和を促し効率的な移動を実現させる。

① 安全・安心に移動できるという役割については、後述の具体的な内容に安全・安心の記述がないのが気になります。

② スマートシティの役割としてまちづくりを推進するのは違和感があります。まちづくりを推進するのは、行政、事業者、住民等の役割でありスマートシティの役割ではないと思います。内容からするに、公共交通の維持や交通混雑の緩和が果たす役割ではないでしょうか。

③ 「検策」→「検索」

④ 「に」→「で」

②エネルギーの観点

エネルギー利用状況のデータ管理による徹底した省エネルギー化や再生エネルギー活用により⑤、環境に配慮したまちづくりを推進する役割⑥がある。

具体的な内容として、太陽光や風力等の再生エネルギーを活用したマイクログリッド⑦の導入が挙げられる。コミュニティ内でのエネルギー供給源と消費施設を整備することで、エネルギーの地産地消を図る。

⑤ ちょっと読みにくいので、交通の書きぶりと合わせる良いと思います。「省エネルギー化や再生可能エネルギー活用に必要となる需給データを収集することで、・・・」でいかがでしょうか。

⑥ ②と同様、脱炭素化や GX といった内容が役割ではないでしょうか。

⑦ マイクログリッドは、再生可能エネルギーの活用でというよりも、分散型電源と新たな送電線網により実現されるものと考えます。また、マイクログリッドは、エネルギーの

地産地消という観点から、電力レジリエンスの強化といった特徴となるため、防災よりの取組に感じます。マイクログリッドも環境配慮と言えなくもないですが、内容からするに CEMS やスマートグリッドの方が良いかもしれません。この場合は、高度なエネルギーマネジメントによりとなります。

③防災の観点

3Dデータ⑧等により災害リスクを可視化し、災害に強いまちづくりを推進する役割⑨がある。

具体的な内容として、IOTセンサーとPLATEAUを活用した、3D空間での浸水被害シミュレーション⑩が挙げられる。台風や集中豪雨等による浸水被害を可視化することで、迅速な防災行動⑪を促す。　以上

⑧　何のデータか分からないので、３Ｄ都市モデルとしてはどうでしょうか。

⑨　②同様。

⑩　センサーを活用するとあるので、平時ではなく災害が予想されている状況下とした場合、「予測」の方が良いと思います。

⑪　⑩と同じ状況の場合、「避難行動」の方が良いと思います。